

## 生分解性マルチの効果確認試験



①6月12日撮影 試験品



②6月12日撮影 試験品



③6月12日撮影 慣行品



④6月12日撮影 左側慣行品、右側試験品



⑤9月12日撮影 すき込み後



⑥9月12日撮影 すき込み後

## 試験目的

生分解性マルチの効果確認

試験作物  
及び品種

大根(つや風)

試験資材  
及び数量(規格)

コーンマルチⅡ(0.015mm×135cm×400m) 黒 有孔 26本

## 慣行資材

キ工丸(0.018mm×135cm×400m) 黒 有孔

## 栽培方法

播種日

6月10日

収穫日

8月10日

【栽植密度】  
畝幅：45cm  
株間：22cm

## 資材使用期間

6月10日～8月10日

## 試験区面積

1.30ha

## 試験結果

## (1)作業性について(慣行品との比較)

試験品は伸び縮みする特徴があり、展張時に時々シワが寄ってしまう場面があったものの、おおむね問題なく展張することができた。すき込み作業においても、慣行品と比較してそんな色なく行うことができた。

## (2)作物の生育状況または、収穫への影響

生育へのについても慣行品と変わらない。大根は播種後60日で収穫するが、予定通り収穫作業を行うことができた。

## (3)栽培管理上の優位点あるいは問題点について

【優位点】：価格が安く、強度面は慣行品とそんな色なく使用することができた。

【問題点】：伸び縮みしやすいため、展張時にシワが寄りやすい。

## (4)資材の強度・耐久性・崩壊性について

試験品は薄物なので強度が心配だったが、慣行品とそんな色なかった。すき込み後の分解については注意して経過観察していきたい。

## (5)促成・抑制効果について

慣行品と変わらない

## (6)保温効果について

慣行品と変わらない

## (7)雑草・病害虫の発生について

慣行品と変わらない

## モニター感想

試験品は慣行品と比べて薄物であるものの、強度面では慣行品とそんな色なく、展張・すき込み作業も問題なく行うことができた。

生分解性マルチは原則購入した年に使用しなければいけないが、やむを得ず在庫ができる場合があるため、購入後1年経っても問題なく使用できるものであれば、より安心して購入することができる。

## JA担当者の感想(農産販売課 種田 氏)

試験品は薄物だが、強度面は慣行品とそんな色がないため、問題なく使用できると感じた。

マルチ等の営農にかかる資材費は年々上昇傾向にあるため、低コストで品質の高いものは組合員に積極的にPRしていきたい。

試験品は、現状慣行品と比べて安価であるため、次年度以降も価格面で優位性が出るようであれば、引き続き利用したい。

## 今後の使用について

継続して使用したい。

慣行品よりも安価で、すき込み後のマルチ分解も順調に進むようであれば、引き続き利用したい。

## 将来希望する資材について

強度のある生分解性マルチ。購入後、使用するまで1～2年程度経っても使用できるものがあればよい。